

湯沢トレッキングコース (南蒲・湯沢町)

■環境：山地
 ■対象：健脚
 ■期間：4月～11月

上信越高原国立公園の大自然、清津峡沿いのトチ、ナラ、ブナの原生林内でフィトンチッドを満喫しながら、コルリ、クロジ、アカショウビンの歌声を楽しむことができる。

<湯沢高原夜明けのシンフォニー>

国道17号線芝原トンネルの手前を左折して真っ暗な山道を車で登って栄太郎峠で夜明けを迎える探鳥は素晴らしい。

ヨタカがさかんに鳴き交わすうちに東の山々がうっすらと白みがかってくる。ホトトギス、カッコウ、ツツドリ、ジュウイチの競うような歌声。これに目覚めるかのようにキセキレイ、ホオジロ、クロジ、イカル、クロツグミ、キビタキ、マミジロ、サンショウクイ

の歌声もスタートする。夜明けのシンフォニーが最高潮となりアカネ色に染まった山々が輝きを増してくると国境の会津尾瀬方向の山々から日が昇る。

日中あまり鳴かないアカショウビンの哀愁をおびた歌声が、朝もやに包

まれたアルプの里あたりから聞こえてくる。

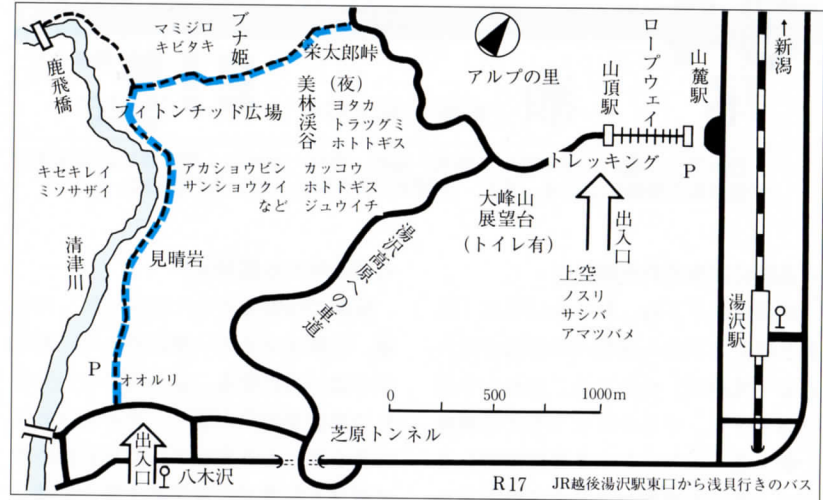
栄太郎峠から清津峡の鹿飛橋、ブナとトチの巨樹が生い茂る森（フィトンチッド広場）まで下って再び同じ道を引き返して登っても3時間足らずで往復できるので、ぜひ清津峡沿いに残された原生林をゆっくり探鳥するとよい。

<谷筋から沸き上がるミソサザイの歌>

美林渓谷と名付けられたブナ林からは、さかんにさえずるミソサザイの早いテンポの歌声を堪能できる。ブナ林



見晴岩付近



内の急な下りをまだかまだかと下っていくうちにやっと清津川本流の瀬音が足元から聞こえてくる。トチの森に残された朽ちた木のこずえでオオルリがのどかな歌声を響かせる。

栄太郎峠登り口近くの清津川本流河床に小さな水たまりができ、その周りにはうっそうとしたヤナギの林に覆われており、この湿地にはオシドリがすみついている。

<樹幹をついばむ鳥たちの群れ>

晩秋は、紅葉が終わり再び深い雪の中に閉ざされる無表情な季節と思われがちだが、生きものたちの姿は春とはまた違った魅力に満ちている。ドンダリなど秋の実りをせっせと拾い集めるカケス。樹幹をせわしく動きまわるキツツキの仲間。互いに呼び合うカラの

群れが森の静寂を破り、林内に差し込む陽光の間を鳥の影が移っていく。繁殖期とはまた違った鳥の生活をわたしたちに垣間見せてくれる。

(木下 弘)

メモ

交通 JR越後湯沢駅東口から浅貝行ききのバスで「八木沢」下車、もしくは徒歩5分のロープウェイで湯沢高原まで上がる。ロープウェイ山頂駅から八木沢まで道標も整備されている。(所要時間5時間)

☑ロープウェイ山ろく駅、八木沢トレッキング湯沢入り口、大峰山展望台などどこでも可。トイレは八木沢、大峰山展望台、ロープウェイ駅に有り。

探鳥会 特にやっていない。
道草 湯沢外湯めぐり、湯沢町内に町営の共同浴場(料金大人300~500円)がある。他に湯沢高原高山植物園(アルプの里)